



KMLファイル作成の流れ

KMLファイル作成ページ (<http://mieruka.net/kmlgenfile>)

①統計データの指定

KMLファイル作成システム：統計データの指定

KMLファイルを作成する統計データを選択してください:

選択されていません

都市構造可視化計画

福岡県、国立研究開発法人建築研究所、日本都市計画学会都市構造評価特別委員会

②グラフの表示設定

KMLファイル作成システム：グラフ表示指定

メッシュ幅	メッシュ数
100%	2711
90%	2440
80%	2169
70%	1898
60%	1627
50%	1356
40%	1085
30%	814
20%	543
10%	272
0%	1

自治体名: sample
統計データ: 人口
メッシュサイズ: 500mメッシュ
測地系: 世界測地系

グラフの色を設定

第4区間色:
第3区間色: 6500 第3境界値
第2区間色: 4500 第2境界値
第1区間色: 1005 第1境界値

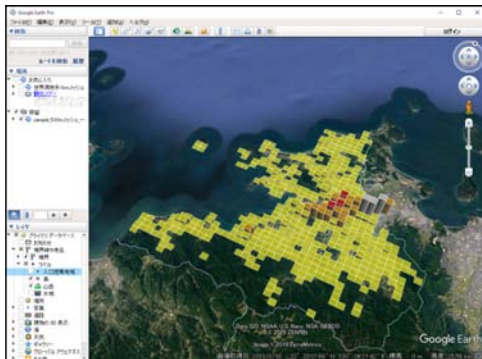
グラフの高さ比率: 1
グラフの高さオフセット: 10

生成

都市構造可視化計画

福岡県、国立研究開発法人建築研究所、日本都市計画学会都市構造評価特別委員会

③KMLの作成、確認



KMLの表現を見直す場合は戻って設定を変える



統計データの指定

KMLを作成するため、統計データを指定します。

- ①「ファイルを選択」をクリックし、CSVファイルを選択します。
- ②ファイルのアップロードをクリックします。

KMLファイル作成システム：統計データの指定

KMLファイルを作成する統計データを選択してください:

① 選択されていません ②

都市構造可視化計画

福岡県、国立研究開発法人建築研究所、日本都市計画学会都市構造評価特別委員会

(CSVファイル)

福岡市.人口分布.csv - TeraPad

ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 表示(V) ウ

1	503010734,67↓
2	503010761,2↓
3	503010763,120↓
4	503010764,4↓
5	503010832,123↓
6	503010834,1↓
7	503010841,64↓
8	503010842,58↓
9	503010843,17↓
10	503010844,24↓
11	503010851,3↓
12	503010852,67↓

CSVファイルについて
 ファイル名は「自治体名.統計データのテーマ.csv」です。
 ファイル名の「自治体名」、「統計データのテーマ」は任意の文字列です。
 フォーマットは、CSV形式です。

1行目から記載します。
 カンマ区切りでメッシュコード、値を記載します。



グラフ表示指定

グラフ表示の設定を行ないます。

KMLファイル作成システム：グラフ表示指定

		メッシュ値	メッシュ数
		100 %	2711
		90 %	2440
		80 %	2169
		70 %	1898
		60 %	1627
		50 %	1356
		40 %	1085
		30 %	814
		20 %	543
		10 %	272
		0 %	1

自治体名 sample
統計データ 人口
メッシュサイズ 500mメッシュ
測地系 世界測地系

グラフの色を設定

①

第4区間色		第3境界値
第3区間色	8000	第2境界値
第2区間色	4000	第1境界値
第1区間色	1085	

グラフの高さ倍率: 1
②
グラフの高さオフセット: 10

③ 作成

都市構造可視化計画
福岡県、国立研究開発法人建築研究所、日本都市計画学会都市構造評価特別委員会

アップロードしたCSVファイルの情報が表示されます

メッシュ値とメッシュ数はデータの分布を示しています。色分けする境界値を設定するときの参考になります

①グラフを色分けする境界値を設定します

②グラフの高さ倍率、高さオフセット(地面からの高さ)の値を設定します

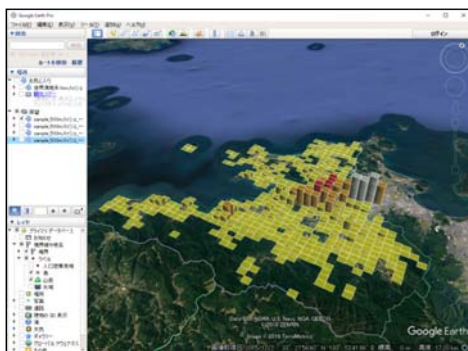
③作成をクリック



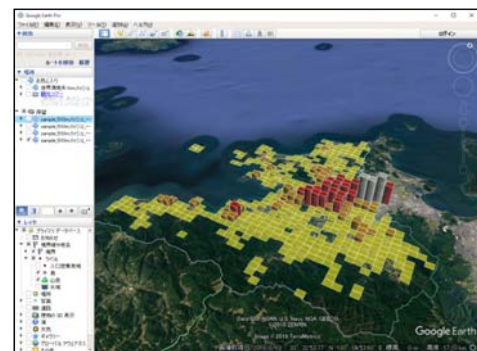
KMLの作成、確認

作成したKMLをGoogleEarthで開いて確認します。

KMLの表現を見直したい場合は、色の境界値、高さ倍率を変えてKMLを再作成します



色の境界値を変更



高さ倍率を1から10へ変更

